

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	論理国語	2	選択履修	R6・2	全HR
使用教科書	三省堂「精選 論理国語」(論国 703)				
副教材	いっずな書店「三訂版プログレス現代文総演習標準編」				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 学習方法

<p>①これまで身に付けた知識や読解力を生かしながら、日々の授業を中心に主体的に学習に取り組む。</p> <p>②知見の異なる様々な文章を読むことで、多角的なものの見方や考え方を着実に身に付けていく。</p> <p>③本文の読解にとどまらず、自分の意見を持ち、そのことをわかりやすく他者に伝える。</p>
--

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について身に付けることができるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

## 4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む 姿勢
----	---	--------------	-------	----------	-----------------------

1 学 期	4 月	「論理力と思考力」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで必要な語句の量を増やし、学習課題に沿って論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。</li> </ul>
	5 月	「情報のメタ化」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで必要な語句の量を増やし、学習課題に沿って論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。</li> </ul>
	6 月	「マルジャーナの知恵」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報に関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論しようとしている。</li> </ul>
	7 月	「世代間倫理としての環境倫理学」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開仕方について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確に捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。</li> </ul>

		<p>「記号を使う動物」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。</li> </ul>
<p>2 学期</p>	<p>9 月</p>	<p>学びを広げる 言葉の力について考える。 [コラム] ツイッター哲学</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで言葉そのものを認識したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じようとしている。</li> </ul>
		<p>「病と科学」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。</li> </ul>
	<p>10 月以降</p>	<p>「ミロのヴィーナス」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。</li> </ul>

3 学 期	1 月 以 降	『なぜ』に答えられない科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。</li> </ul>
-------------	------------------	---------------	--	---	--

## 4. 教科担当者より

「論理国語」では、実社会において必要となる、文章を論理的に書いたり批判的に読んだりする資質や能力の育成を目指していきます。したがって、日頃より、論理的な文章だけではなく、私たちの身の回りにある様々な実用的な文章（報道や広報の文章や報告書、企画書、法令文など）にも多く触れていくようにしてください。

昨年度学習した「現代の国語」から、より深まった内容や抽象的な表現に触れていくことで、知識や思考力を高めていきましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	文学国語	2	選択	R6・2	文系・23、24、25HR
使用教科書	桐原書店『探求 文学国語』				
副教材					

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>・初読の際には、登場人物、心情表現、情景描写に必ずチェックを入れながら読むこと。</li> <li>・登場人物の言動や場面の変化に注目しながら読解すること。</li> <li>・語句・漢字については、辞書を引き、言葉に敏感になること。</li> </ul>
---

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 ・ 5 月	「感触——世界のリアル」 (保坂和志)	「感触——世界のリアル」における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。	随想という文章の種類を踏まえて、その特徴を十分に理解し、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「感触」について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。
	6 月	小説1 「途中下車」 (宮本輝)	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。	小説という文章の種類を踏まえて、その特徴を十分に理解し、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	本教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした書き換えを創作しようとしている。

	7 ・ 8 月	文学評論 「もののふの心— 言葉とコトバ」 (若松英輔)	「コトバ」やそれに関する文章の種類や特徴などについて十分に理解を深めている。	「コトバ」の内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。	本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「コトバ」について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。
2 学 期	9・ 10 月	小説2 「山月記」 (中島敦)	「山月記」における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。	翻案を書くために、選んだ題材に応じて有効な情報を適切に収集、整理して、表現したいことを明確にしている。	本教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした翻案を創作しようとしている。
	11 月	短歌八首	短歌における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。	短歌の特徴や修辞の働きなどを十分に考慮して、読み手を引き付ける独創的な短歌になるよう効果的に工夫している。	本教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした短歌を創作しようとしている。
	12 月	「虫のいろいろ」 (尾崎一雄)	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈している。	本文の内容を踏まえて虫の様子を眺めることが「私」にどのような影響をあたえているのかについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。
	1 ～ 3 月	日曜日はどこへ (川上未映子)	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈している。	本文の内容を踏まえて「わたし」はこれからどのように生きていくと思うかについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。

## 5. 教科担当者より

文学国語では、様々な文学作品を読むことを通して、登場人物の心情を読み取っていきます。また、語彙力を豊かにし、人間や社会、自然などに対するものの見方や考え方、感じ方を深め、読むことの楽しさを味わって欲しいと思います。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	古典探究	3	選択	R6・2	全HR
使用教科書	桐原書店『探求 古典探究 古文編・漢文編』				
副教材	株式会社ラーズ「進研ウィンステップ古典2 古典編 [新課程版]」				

## 1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>古文、漢文ともに 習をした上で授業に臨むこと。</li> <li>古文：古文単語や文法事項（用言・敬語・助動詞など）のチェックをすること。 読みながら文意を把握し、主語・述語・目的語等の把握に努めること。</li> <li>漢文：書き下し文、句法や重要語をチェックし、主語を補いながら口語訳をすること。</li> </ul>
---

## 3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

## 4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 ・ 5 月	古文・説話、随筆 「宇治拾遺物語」 (歌詠みて罪を許 さるること) 「方丈記」 (行く川の流れ)	本文に用いられている 語句の意味や用法を正 しく理解している。	説話や随筆という文章 の種類を踏まえて、構成 や展開などを的確に捉 えている。	この説話や随筆から考 えられる和歌という文 化のあり方や、先人の考 え方について話し合い、 自分の考えを深めよう としている。

	6月	漢文・故事、寓話 「十八史略」 (先從隗始) 「歴代名画記」 (画竜点睛)	本文に用いられている 語句の意味や用法を正 しく理解している。	故事成語という文章の 種類を踏まえて、構成や 展開などを的確に捉え ている。	本文の内容を踏まえて 登場人物について話し 合い、自分の考えを深め ようとしている。
	7 ・ 8 月	古文・物語、日記 「大和物語」 (姥捨) 「更級日記」 (門出)	本文を読むために必要 な文語の決まりについ て理解を深めている。	他の古典作品や、現代の 日記と比較するなど、多 面的・多角的視点から評 価することを通して、我 が国の言語文化につい て自分の考えを広げたり、 深めたりしている。	本文の内容を踏まえて、 その後の展開について 話し合い、自分の考えを 深めようとしている。
2 学 期	9 月	漢文・史伝Ⅰ 「史記」 (赤壁の戦い)	史伝という文章の種類 とその特徴について理 解を深めている。	史伝という文章の種類 を踏まえて、構成や展開 などを的確に捉えている。	本文の内容を踏まえて、 物語の展開について話 し合い、自分の考えを深 めようとしている。
	10 ・ 11 月	古文・歴史 「大鏡」 (花山院の出家) (道長と伊周の競 射)	敬語を中心に、本文に用 いられている語句の意 味や用法を正しく理解 している。	「大鏡」の成立した背景 や、漢詩の文化との関係 などを踏まえながら読 み、内容の解釈を深め、 作品の価値について考 察している。	作者の意図や物事の捉 え方についての自分の 考えを分かりやすくまと めたり、周囲と意見を 交換したりしようとして いる。
	12 月	漢文・文章 「陶淵明集」 (桃下源記)	我が国の文化の特質や、 我が国の文化と中国な ど外国の文化との関係 について理解を深めて いる。	「桃下源記」に表れてい るものの見方、感じ方、 考え方を踏まえ、人間、 社会、自然などに対する 自分の考えを広げたり、 深めたりしている。	本文の内容を踏まえて、 理想的な社会について 話し合い、自分の考えを 深めようとしている。
3 学 期	1 ・ 2 月	古文・物語 「源氏物語」 (光源氏の誕生)	敬語など、本文に用いら れている語句の意味や 用法を正しく理解して いる。	物語という文章の種類 を踏まえて、構成や展開 などを的確に捉えている。	作者の意図や物事の解 釈についての自分の考 えを分かりやすくまと めたり、周囲と意見を 交換したりしようとして いる。
	3 月	漢文・史伝Ⅱ 「史記」 (鴻門の会) (四面楚歌)	文の成分の順序や照応、 文章の構成や展開の仕 方について理解を深め ている。	史伝という文章の種類 を踏まえて、構成や展開 などを的確に捉えている。	比喩的な表現の知識を 活用して課題に取り組 もうとしている。

## 5. 教科担当者より

古典探究では、これまで身に付けた古典に関する知識（用言、助動詞、敬語、句法）などを活用して、様々な文章を読んでいきます。古典作品を読むことを通して、日本や中国の伝統や文化、風習などを知るとともに、先人達のもの見方、感じ方、考え方を理解していきたいと思ひます。そして、古典作品のおもしろさを味わうことで、古典への興味・関心を広げ、視野を広げていきたいと思ひます。